

# 第四十九回 三溪園投句箱の部 受賞者 入賞作品一覧表 (二〇二四年度)

## 《一般の部》

横浜市長賞	木五倍子咲く雲の疾さを塔にみて	三枝侑子（さえぐさゆうこ）
三溪園理事長賞	笛の音に塔浮かび立つ良夜かな	大塚 かずよ（おおつか かずよ）
横浜俳話会会長賞	耳遠きふたりの間合い曼殊沙華	高橋 貴彦（たかはしたかひこ）
三溪園園長賞	人待ちの筆と文机冬座敷	高田 久生（たかだ ひさお）
三溪園賞	ベンチにて亀鳴くを待つ三溪園	池野 弘葉（いけの ひろは）
三溪園賞	秋の声大きな耳で聞く露仏	守谷 一剣（もりや いっけん）
三溪園賞	さざなみの白雲に乗る目高かな	高島 治（たかしま おさむ）
横浜俳話会賞	石棺に天平のこゑ櫨紅葉	宮崎 清美（みやざき きよみ）
横浜俳話会賞	小流れの光となりて散紅葉	橋爪 あゆみ（はしづめ あゆみ）
横浜俳話会賞	屋根替えの成りし御堂や若葉雨	桑本 螢生（くわもと けいせい）
入選	うぐいすの歌聞きひらく赤子の目	榎本 佳果（えのもと けいか）
入選	浮き舟の影に漣小六月	野中 定代（のなか さだよ）
入選	時雨るるや哲学顔の鷺一羽	窪田 ますみ（くぼた ますみ）
入選	吹く風に一期一会のこぼれ萩	石田 良平（いしだ りょうへい）
入選	涼しさや本堂に聞くフランス語	田中 まぎぬ（たなか まぎぬ）
入選	茅葺を燻す囲炉裏火春立ちぬ	堀田 英俊（ほった ひでとし）
入選	真新し茅葺き屋根よ天高し	村瀬 陽子（むらせ ようこ）
入選	点呼待つ三溪園の赤とんぼ	佐々木 久子（ささき ひさこ）
入選	掛時計百年動く夏館	増子 桂子（ますこ けいこ）
入選	野晒しの舟に身を寄す渡り鳥	田中 清春（たなか きよはる）
入選	浮寝鳥池の向かうの大道芸	黒田 牧男（くろだ まきお）
入選	三溪園孤舟を囲む浮寝鳥	青木 敏行（あおき としゆき）
入選	池の端の白無垢清し花菖蒲	依田 美由起（よだ みゆき）
入選	三溪園落ち葉ふとんに猫昼寝	亀井 京子（かめい きょうこ）
入選	直立の衛兵の列菊花展	川満 久恵（かわみち ひさえ）

## 《年少者の部》

高校生	睡蓮をかきわけかきわけ亀進む	塩崎 夏奈（しおぎき かな）
児童	あおさぎのこぎかなねらうながいくび	大橋 梨乃（おおはしりの）
小学生	かもがひくいけにひろがるなみもよう	葛原 愛羽（くずはら あいは）

二〇二三年十一月一日～二〇二四年十月三十一日の期間 投句箱に寄せられた六一四句から各賞を決定しました。

【協力】 横浜俳話会